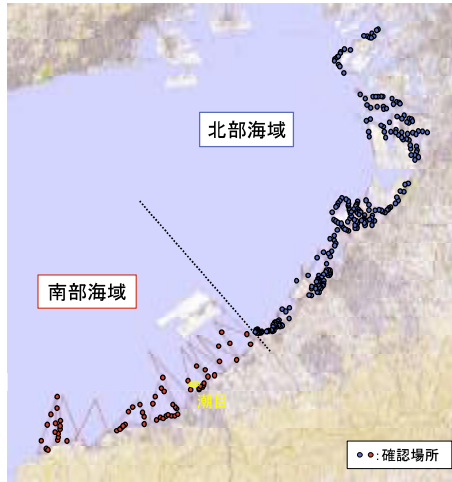


## 浮遊ゴミの実態把握の取り組み

大阪府沿岸域の北部海域の護岸域と南部海域の沿岸について、浮遊ゴミの実態を調査しています。

多く確認できた浮遊ゴミの種類は、木くず、容器包装類、ペットボトルでした。

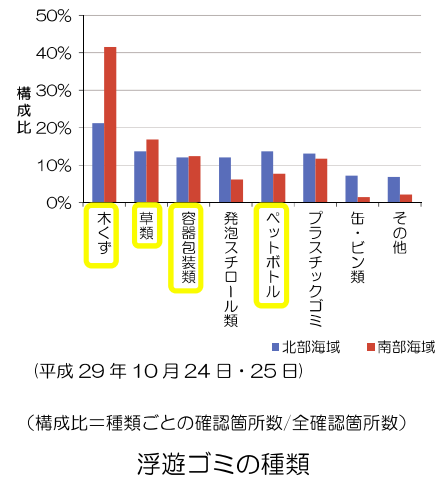
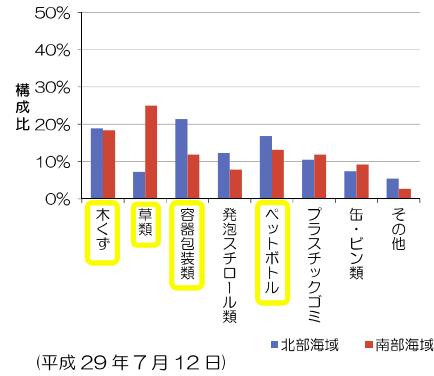
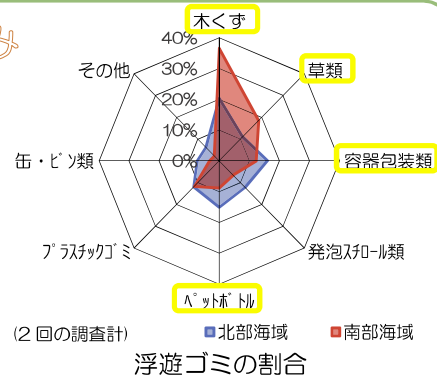


平成 29 年 7 月 12 日



平成 29 年 10 月 24 日・25 日

浮遊ゴミの確認場所



## 浮遊ゴミの特徴

容器包装類、ペットボトルは私たちの生活から排出されます。これらのゴミは水よりも軽いいため、浮遊ゴミとなり、広範囲に拡散します。浮遊ゴミの一部は、海岸に打ち上がり漂着ゴミとなります。

容器包装類とは

- ・袋類（レジ袋、菓子袋）
- ・容器類（弁当、カップ麺などの容器）
- ・トレイ類（冷凍食品などのトレイ）

ペットボトルとは

- ・飲料、調味料などの容器



浮遊ゴミは、河川等を通じて流れ込み、  
海域で広範囲に拡散します。  
浮遊ゴミは、海岸にも打ち上がり海辺  
を汚します。  
ゴミは捨てずに持ち帰って、きれいな  
川や海を保ちましょう。

